

平成30年度から 福島県職員（民間企業等職務経験者） 採用候補者試験が変わります！

平成30年3月1日
福島県人事委員会事務局

福島県では、民間企業等で培った知識経験等をいかして、本県の復興や地域づくりの推進などに向けて即戦力として活躍できる方を採用する福島県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験を実施しています。

より受験しやすく、かつ、職務経験などをアピールしやすくするため、平成30年度の試験から、以下のとおり試験内容の一部を変更します。

■ 教養試験の出題数を50題から30題に減らします。

知識分野のうち、人文科学分野（地理、日本史など）及び自然科学分野（数学、化学など）の出題をとりやめるなど、出題数を減らすことで、より受験しやすい試験になります！

（変更前）

社会科学	文章理解
人文科学	判断推理
自然科学	数的推理・資料解釈



（変更後）

社会科学	文章理解
人文科学	判断推理
自然科学	数的推理・資料解釈

■ 資格加点（技術職種のみ）やアピールシート試験を導入します。

- 農業土木、土木の職種では、職務に結びつく資格※を有する場合に、加点します！

※1級または2級土木施工管理技士。

※受験資格ではありません。

- 志望動機や職務経験での実績などを具体的に記載し、受験者の皆さんの強みをアピールしていただく、アピールシート試験を導入します！

- 口述試験の中で、社会貢献活動をはじめとした職務経験以外の幅広い経験についてお伺いしていきます！



採用予定者数や試験会場、分野別の出題数などについては5月上旬配付予定の「受験案内」をご覧ください。

福島県人事委員会事務局採用給与課
TEL 024-521-7590

◎変更後の試験の概要

試験	試験種目	備考	配点	
			H29	H30
第1次試験	教養試験	<ul style="list-style-type: none"> 出題数削減 (50題→30題) 試験時間も短くなります。 (150分→90分) 	100	60
	資格加点	<ul style="list-style-type: none"> 技術系職種のみ 	—	10
	アピールシート試験	<ul style="list-style-type: none"> 事前提出 	—	90
	論文試験(注)	<ul style="list-style-type: none"> 第1次試験で実施します。 評価は第2次試験で行います。 	120	30
第2次試験	口述試験 (プレゼンテーションを含む。)		210	210
	適性検査		適否	適否

(注) これまで職務経験と文章の表現力等を評価していた「論文試験」は、論理性や文章の表現力等を評価する試験とします。

◎平成30年度県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験日程（予定）

○受付期間 7月20日（金）～8月17日（金）

○第1次試験 9月23日（日）

※詳しくは、「福島県職員採用総合案内」をご覧ください。

◎県職員（民間企業等職務経験者）採用候補者試験における求める人物像

《福島県が求める人物像》

- 仕事や自らの行動の向こう側には「いつも県民がいる」ことを意識できる人
…県民全体の奉仕者であることに誇りと自覚を持ち、誰のために、何のために仕事をするのかを常に意識することができる人を求めています。
- 失敗を恐れずにチャレンジできる人
…福島県は東日本大震災からの復興の途上にあり、さらには、地方創生の推進にも全力で取り組まなければなりません。山積する課題や幅広い業務に果敢にチャレンジし、自ら成長し続ける意欲と行動力を持った人を求めています。
- よく聴き、よく考え、わかりやすく伝えることができる人
…県職員の仕事は幅広く、常に組織内外との連携や調整が必要です。多様な価値観を持った人々と誠実にコミュニケーションを取ることができる人を求めています。
- そして何より、福島県をより良くしたいという熱い思いのある人

本試験は、採用後すぐに中堅係員として実力を発揮していただける方を採用する試験です。上記の人物像に加えて、県政のために即戦力として活躍できる、以下のような方を求めています。

- 福島県の復興や、複雑・多様化する県行政の新しい課題の解決に向けて、強い意欲と高い志を持ち、自らの職務経験や能力を発揮できる方
- 民間企業等で培った豊かな感性や柔軟な発想力、現場感覚をいかして、県行政に新しい視点をもたらし、幅広い分野で組織の活性化に貢献できる方

～ 県内在住者に限らず、福島県にUターン・Iターンし、職務経験で得たノウハウなどをいかして、復興や地域づくりの推進など、福島県のために尽力できる方をお待ちしております。 ～